

令和7年度 詳細評価シート

(1)事業の概要等

事業番号	B0701	事務事業名	ボランティア活動等助成事業				事業期間	平成元年度	～	令和9年度以降							
実施計画事業																	
評価対象年度	令和 6 年度	担当部	福祉部				担当課・担当係	福祉総務課 社会福祉係									
小牧市まちづくり推進計画 (R5年～R8年)	分野別計画編	基本 施策	7	展開 方向	1	事業区分	その他(評価対象)	款	3	項	1	目	1	大	4	中	2
事業の目的・効果	市民が気軽に参加できるボランティアの立ち上げや運営の支援を行うことで各種ボランティアを育成する。						事業概要	社会福祉協議会が実施する地域福祉活動推進事業の充実のため交付するもの 具体的な事業内容は次のとおり ①福祉教育活動推進事業(福祉教育サポーター講座、福祉体験学習など) ②福祉のまちづくり推進事業(ふれあい会食会、ふれあいサロンなど) ③ボランティア啓発、養成研修事業(ボランティア養成講座など) ④在宅福祉推進事業(紙おむつ配布) ⑤児童・青少年福祉活動事業 ⑥ボランティア活動推進事業(災害ボランティア、婦人奉仕団など) ⑦災害ボランティア支援事業 ⑧相談・登録・斡旋事業(ボランティア保険加入支援)									
事業の経緯・年度計画	<ul style="list-style-type: none"> 在宅福祉事業及びボランティア活動推進事業等補助金交付要綱(平成元年4月1日適用) 在宅福祉事業及びボランティア活動推進事業等補助金交付要綱(平成11年4月1日11小福第140号)(全部改正) 地域福祉活動推進事業補助金交付要綱(平成28年4月1日施行)(名称変更) 令和元年度より補助対象事業に「相談・登録・斡旋事業」を加え、ボランティア保険の保険料に充当する費用を加算した。 令和2年度より臨時嘱託職員への一時金給付のため人件費相当分を増額 																

(2)事業費

事業費	項目	単位等	R3		R4		R5		R6		R7	
			千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
直接経費	決算額	財源	一般財源									
			国・県支出金	0		0		47		58		
			その他	10,575		10,060		15,465		14,416		
			計(A)	10,575		10,060		15,512		14,474		
	対前年比	%	—	95.13%	154.19%	93.31%						
人件費	事業費合計(C=A+B)	予算額	千円	10,575		10,060		15,512		14,474		15,410
		正規職員	人	0.03		0.03		0.03		0.03		
		会計年度任用職員	人									
		人件費(B)	千円	226		226		226		226		
		千円	10,801		10,286		15,738		14,700			

(3)業績

指標	指標ほか	単位	R3		R4		R5		R6		R7	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
成果指標	ココボラへの参加者数	人	—	64	—	55	—	97	—	89	—	—
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
活動指標	ココボラの活動件数	件	—	10	—	7	—	28	—	73	—	—
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(4)事業の評価

事業の方向性	維持(改善)	事務事業評価による額	0千円	
事業の実施状況	事業の目的の達成状況及び指標の達成状況	<p>福祉体験学習への参加者数 34人以上、ココボラへの参加者数 55人以上を推進しているところ、令和5年度以降は、それを超える実績となっている。</p> <p>また、ボランティア新規登録者数については、令和5年度から令和8年度にかけて、毎年20人以上の増加を目標としているところ、令和5年度、令和6年度と20人以上増加した。</p> <p>なお、令和7年3月末現在で、ボランティアグループ登録数は103団体(2,973人)、個人ボランティア登録数は29人となっている。</p> <p>(活動の詳細(令和6年度)(抜粋))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアセンター運営委員会、ボランティア勉強会(年4回実施) ・ボランティア活動保険 加入人数275人、行事活動保険14件 ・ジュニア奉仕団卒団生の活動(ココボラ) 活動件数73件、延べ89名 ・災害ボランティア支援センター立ち上げ訓練 参加者数69名 ・ボランティア活動に関する相談 対応件数401件 	今後の実施内容	福祉体験学習、ココボラへの参加者数について、今後も増加を図る。 ボランティア新規登録者数についても、今後も増加を図る。 なお、各ボランティア養成講座に加え、R7年度より「ボランティア担い手養成体験会等の開催支援」「ボランティア活性助成金」を新規で実施している。 今年度の状況を踏まえ、より効果的な支援の在り方を検討していく予定であり、今後の事業費は現在と同程度を想定している。
	E(廃止)業務自体を無くせるか	No	改善 取組内容	ボランティア新規登録者数の増加に向けて、社会福祉協議会において、今年度の実績や市民ニーズを踏まえ、どのような分野のボランティアへの支援を充実させ、増やしていくべきなのか、今後も検討を続ける必要があると考える。
	C(結合)作業をまとめられるか	No		
	R(入替・代替)手順や担当を変えられるか	No		
	S(単純化)もっと簡単にできるか	No		